

外装表示用です。

● 製品コード一覧 / 製品コード一覧位置
印字5ヶ所及び該商品コード一覧表示用です。又、製品記述欄商品コード一覧表示用です。

● 取扱説明書・分解図・カタログ
印字5ヶ所及び該商品コード一覧表示用です。

● 電子部品等の該商品コード一覧表示用です。性能部品以外は通常6年以内で交換部品等の該商品コード一覧表示用です。

CASITAS MC 100 100HG 101 101HG

取扱説明書 SHIMANO

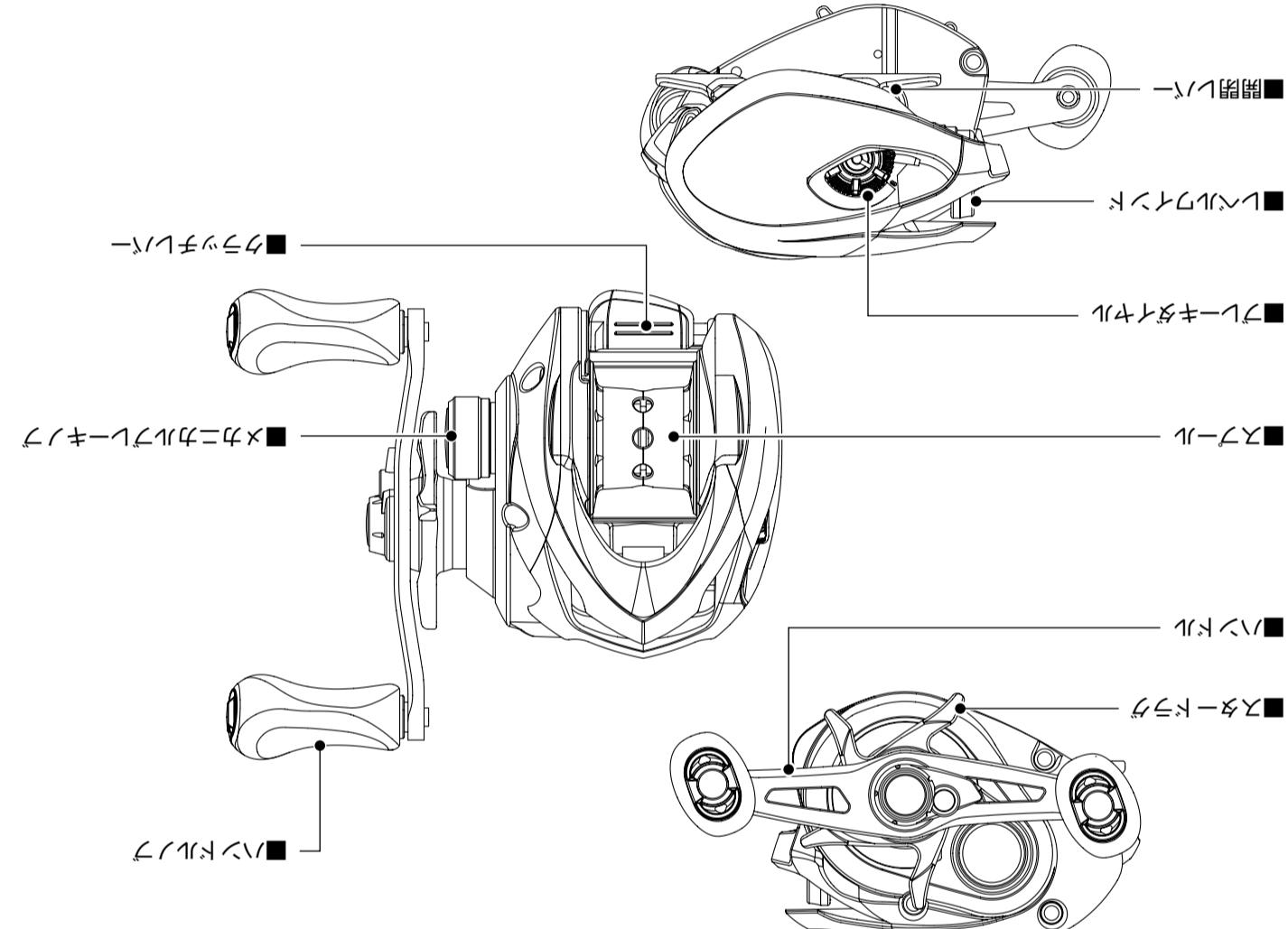
この度はシマノ製品をお買い上げいただき、まことにありがとうございます。
本製品の機能を十分に引き出し、末永くご愛用いただくためにも、使用前にこの取扱説明書をお読みいただき、リール同様大切に保存してください。よろしくお願い申し上げます。

取扱説明書・分解図・カタログ						
●標準付属品						

品番	竿力比	最大力 (kg)	自重 (g)	巻き量 (cm/1回転)	巻き幅 (mm)	巻き寸法 (mm)	回転数 (回/1m)	回転数 (回/m)	回転数 (回/1m)	回転数 (回/m)	回転数 (回/1m)	回転数 (回/m)	回転数 (回/1m)	回転数 (回/m)
101HG	7.2	4.5	190	77	34/22	2/2/1	42	77	34/22	2/2/1	42	77	34/22	2/2/1
101	6.3	4.5	190	67	34/22	2/2/1	42	77	34/22	2/2/1	42	67	34/22	2/2/1
100HG	7.2	4.5	190	67	34/22	2/2/1	42	77	34/22	2/2/1	42	67	34/22	2/2/1
100	6.3	4.5	190	67	34/22	2/2/1	42	77	34/22	2/2/1	42	67	34/22	2/2/1

仕様一覧

※ トグル式リールの標準仕様が異なる場合がございます。



各部の名称

外筒の構造

株式会社シマノ 仙台営業所
〒983-0043 仙台市宮城野区萩野町2-17-10
※仙台営業所管轄のお客様のご連絡は埼玉営業所で承ります。

株式会社シマノ 埼玉営業所
〒362-0043 埼玉県上尾市西宮下3-194-1

株式会社シマノ 東京営業所
〒143-0013 東京都大田区大森南1-17-17

株式会社シマノ 名古屋営業所
〒454-0012 名古屋市中川区尾頭橋2-6-21

株式会社シマノ 大阪営業所
〒590-8577 大阪府堺市堺区老松町3-77

株式会社シマノ 中四国営業所
〒700-0941 岐阜市南区青江6-6-18

株式会社シマノ 九州営業所
〒841-0048 佐賀県鳥栖市藤木町字若桜4-6

株式会社シマノ 釣具事業部
本社: 〒590-8577 大阪府堺市堺区老松町3丁77番地

●商品の性能・スペック、カタログ、イベントやアフターサービスなどに関するお問い合わせ
フリーダイヤル 0120-861130(ハローイイサオ)をご利用下さい。
受付時間: AM9:00~12:00・PM1:00~5:00(土・日・祝日除く)

■シマノホームページ アドレスは <http://www.shimano.com> です。
新製品情報・釣り情報など、フィッシングライフに役立つ、シマノならではのオリジナル情報を発信しています。また、カタログのお申し込みも受け付けています。

安全上・ご使用上のご注意

ご使用前に必ずお読みください。

注意

- | | |
|--|--|
| | <ul style="list-style-type: none"> 糸をリードするレベルワインドの所に指を近づけて、釣りをしないでください。指をはさまれだけがをするおそれがあります。 ハンドルとボディの間に手をはさむと、けがをするおそれがあります。 |
| | <ul style="list-style-type: none"> 糸が勢いよく出ている時は、糸にふれないでください。糸で指を切るおそれがあります。 メッキや塗装等の表面処理が剥がれたり、強い衝撃等により素材の表面が鋭利になった場合には、その部分に触れないでください。けがをするおそれがあります。 リールを砂地に直接置いたり、海水につけたりしないようご注意ください。リール内部に砂や泥水が入ると、思わぬトラブルの原因となります。 掛けかりした時は、竿やリールで無理にあおらないで、手にタオル等の布きれを巻いて、できるだけ釣場に糸の残らないように引き寄せて切ってください。 リールはいねいに扱ってください。移動時、特に放り投げや、バック内で他の道具との接触による破損には十分ご注意ください。 キャスティングの時にはクラッチを切るのを忘れないでください。仕掛けが出て行かず、けがをするおそれがあります。 リールを釣り以外の目的で使用しないでください。 リールの回転部にはグリスや油が付いていますので、服を汚さないように注意してください。 幼児の手の届くところには置かないでください。予期せぬ事故やけがにつながるおそれがあります。 |
| | <ul style="list-style-type: none"> 回転しているスプールには触れないでください。けがをするおそれがあります。 |

使用方法・リールの準備

※説明書中のイラストは実際の製品と異なる場合がございます。

■メカニカルブレーキノブ

メカニカルブレーキは、スプールの回転にブレーキをかけるものです。右に回すとスプールのフリー回転にブレーキがかかり、左に回していくと、そのブレーキは弱くなります。一般的な調整方法として、スプールの左右のがたつきがなくなるところから、少しだけメカニカルブレーキを緩めた状態でお使いください。緩めすぎも、締めすぎもリール本来の性能を阻害する場合があります。風の強い時のキャスティング、スキッピングなど特定の状況においては適度にメカニカルブレーキを締めた方がキャスティングしやすくなります。

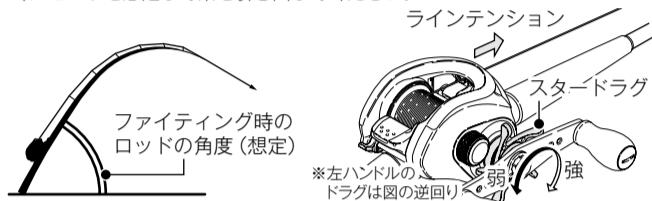
■スタートダラグ

ハンドル側から見て、時計回りに（ LEFTハンドルは反時計回りに）回すことでダラグが締まります。

■ドラグの調整方法

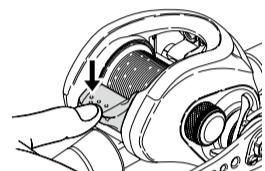
ドラグとは、その強弱を調整することにより、急激な魚の引きに対し、スプールが逆転して糸切れ（ラインブレイク）を防ぐ機構です。又、その逆転時に発生する抵抗値をドラグ力と言います。

- 実際に使用される竿にリールをセットし糸をガイドに通してください。
- クラッチを“ON”の状態にして、想定されるファイティング時のロッドの角度を保って、図のように糸を引き出しながらスタートダラグの締め付けを調節してください。その際、出来るだけ実際の状況に近づける為、対象とする魚の泳ぐスピードを想定して糸を引き出してください。



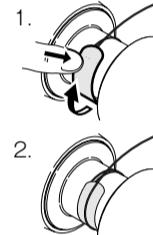
■クラッチ操作方法

親指でクラッチレバーを下に押すとクラッチが切れ、スプールはフリーの状態になります。カチッと音がするまで確実にクラッチレバーを押してクラッチを切ってください。



■スプールへの糸止め方法（糸を巻く時）

- スプールにラインを結び、その結び目の上に市販のテープ等をピッタリと確実に貼ります。（指などで強く押してください。）
- シールが確実に貼られていることを確認してラインを巻き込みます。（最初は少しゆっくりと巻くようにします。）
- 特にPEラインは滑り易く、伸びがないのでナイロンラインなどよりも強いテンションをかけてきっちりと巻くことが必要です。

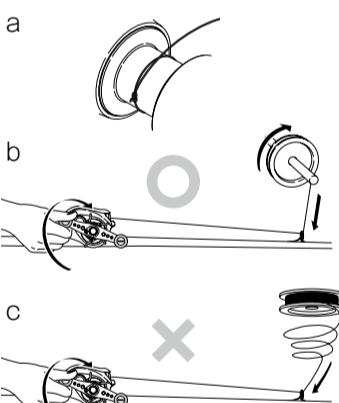


■スプールに糸を巻かれる時の注意点

PEラインを巻かれる際には、必ず滑り止めになる様な物をスプールに巻いてからご使用ください。そのまま巻かれると、スプールに巻いた糸が空転し、糸が巻き取れなくなる可能性があります。

■糸の巻き方

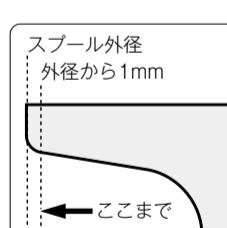
- ドラグを強く締め込みます。
- リールを竿にセットします。
- 元ガイドから糸を通してスプールに結びます。（図a）
- 糸が巻かれているボビンに、割り箸や鉛筆等の軸になるものを通してます。
- そのボビンと軸を誰かに持つてもらい、適度なテンションをかけて、ボビンを回転させながら糸を巻き取るようにして下さい。（図b）図cのようにならないようご注意ください。



尚、PEラインを巻かれる時は、事前にPEラインを充分に湿らせてください。巻き上げ時に発生する熱（抵抗熱）によってPEラインが劣化するのを防ぐためです。

●推奨糸巻量

糸巻量はスプール外径から1mmの位置まで巻くことをおすすめします。

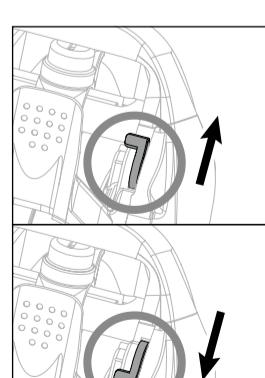


■スプール着脱方法

レバーを押し上げることで、サイドプレートのロックが解除され、開くことができます。釣りに使用される時や、持ち運びの時はレバーが下がっていてロックされている状態にしてください。

※ライトハンドルのイラストで説明しています。

- 開閉レバーを上げるとサイドプレートが開きます。



- 閉じる際は逆の手順でサイドプレートを元の位置に收め、開閉レバーを下げてサイドプレートを閉じます。

※サイドプレートを外した状態で開口部を下に向ければ、スプールが脱落し、変形する恐れがありますのでご注意願います。

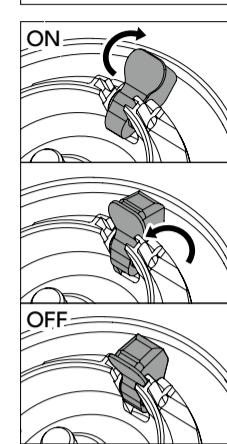
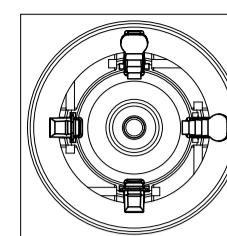
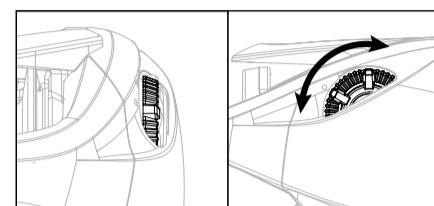
※メカニカルブレーキを締めた状態でサイドプレートを開けると、スプールがサイドプレート側に寄せられていたため、構造上サイドプレートが閉じられなくなります。サイドプレートを閉じる際は、必ずメカニカルブレーキノブを緩めてください。

■SVS∞(infinity) 調整方法

SVS∞(infinity)はスプールに搭載されたブレーキシューとボディ外側についたブレーキダイヤルでブレーキ力を調整します。スプールに搭載された4つのブレーキシューを図の要領で、ON/OFF切り替えすることで基本的なブレーキ調整ができます。

ONにするブレーキシューの数が多いほどブレーキ力は強くなります。

次に外部に搭載されたブレーキダイヤルを回すことで、細やかなブレーキ調整が可能です。ダイヤル上の数字が大きくなる方向へ回転させると、ブレーキ力が大きくなります。



お手入れ方法

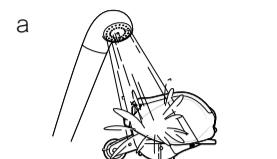
特に海水・汽水域でリールをご使用された後は、錆や塩分の固着によるトラブルを防止するためにも、以下の要領で釣行後にメンテナンスを行うことをお勧めします。

① 必ず竿から外してください。

使用後は、必ず竿から取り外して、真水で水洗いしてから保管ください。例え、水洗いされても、竿とセットしたまま放置されますと、リールのフット部とリールシートのフード部に水が溜まり、腐蝕する恐れがあります。

② 水洗いしてください。

ドラグをしめ込んでから、ハンドルやクラッチ等の作動部を動かしながら、シャワー等の真水で、1~2分間水洗いしてください。（図a）



スプールを取り外し、スプールのみを水洗いしていただくとともに効果があります。

スプールに水分や汚れが残ったままリールに組むと、スプールフリーが悪くなりますので、必ずふき取ってから組み込んでください。

※温水はグリスを洗い流す可能性があるので避けください。また、同様の理由でリール本体を水没させないでください。



③ 乾燥させてください。

ハンドルやクラッチ等の作動部を動かしてよく水を切った後、ドラグをゆるめ、直射日光を避けて陰干ししてください。（図b）

※直射日光、ドライヤー等は内部のムレを引き起こします。

※隙間に残った塩分や錆による固着を防ぐため、乾燥中は1日に1度はハンドルやクラッチ等、作動部を動かしてください。

④ 注油してください。

グリス、オイルは弊社純正品（下記参照）をお使いください。そうでない場合の品質は保証いたしかねます。ご注意ください。

SP-003H（メンテスプレーセット）	¥1,900
SP-013A（オイルスプレー）	¥1,050
SP-023A（グリススプレー）	¥1,100
SP-015L（ザルスリールオイルスプレー）	¥1,500
SP-017P（BFS専用オイルスプレー）	¥2,000

※最寄りの販売店でお買い求めください。上記は2015年11月現在の品番及び税抜本体価格です。

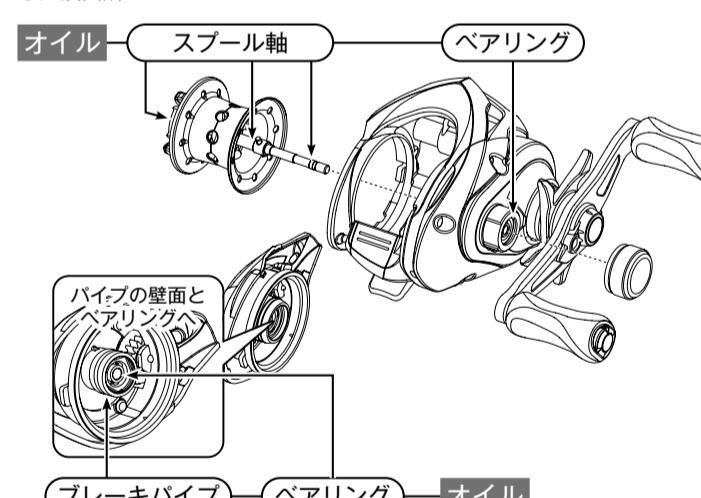
《注油上のご注意》

リールオイル、グリスがハンドルノブに付着したまま長期間放置すると、ハンドルノブが膨潤する場合がありますので、付着した場合はウエスやティッシュペーパー等で必ずふき取ってください。

図の注油箇所にはリールに付属の専用オイル、またはシマノリールオイルスプレーをまちがえないように噴霧してください。（シマノ以外のオイルは使用しないでください。）オイルはごく少量で充分です。特にペアリング部分は、あふれるようであればティッシュペーパー等で吸い取っておいてください。ドラグ部にはオイルは注ぎないでください。

※イラストは実際の製品と異なる場合がございます。

●注油箇所



⑤ 保管上のご注意

保管の際は必ず竿から取り外してください。

また、なるべく乾燥した冷暗所に保管してください。濡れたまま湿度の高い状態で密封された空間（自動車のトランク、ダッショボード等）に長時間放置されますと腐食を起こす可能性があります。

**CASITAS
MC-L
100
100HG
101
101HG**